

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 11 号	氏名	蔵重智美
学位審査委員	主査 田口 尚 副査 前村浩二 副査 大園恵幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究はcalcium channel blockerであるAzelnidipine(AZN)の高血圧性腎症に対する腎保護効果と作用機序を、angiotensin II type I receptor blocker(ARB)であるOlmesartan (OLM)との比較のもとに検討したものであり、研究の目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 20週齢の Stroke-prone spontaneously hypertensive rat(SHRsp) に対し、AZNとOLMを投与し、間質線維化などの組織学的障害の改善や酸化ストレスの関与を免疫組織化学的に比較検討したものであり、その研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、高血圧性腎症の動物モデルにおいては、AZNはOLMと同様に腎間質の線維化と酸化ストレスを抑制することを示しており、降圧効果を越えた腎保護作用を有することが示唆された。高血圧性腎症の抑制機序に関する重要な知見を示すものであり、解析や考察も高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は高血圧性腎症の病態解明や治療法開発に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			